

第6回日本レーザー医学会

会期: 1985年10月1日、2日

場所: 久留米(創世)



シンポジウム:

「癌治療におけるレーザーの利用」

「レーザー治療の新分野」

パネルディスカッション:

「レーザー医学の将来を語る」

司会
パネリスト

渥美和彦(東大)

平野実(久留米大)

稲葉文男(東北大)

大城俊夫(大城クリニック)

大山勝(鹿児島大)

大頭仁(早稲田大)

菊地眞(防衛医大)

久保宇市(近畿大)

黒田寛人(東大)

竹本忠良(山口大)

辻内順平(東工大)

西坂剛(東京農工大)

比企能樹(北里大)

ナロン ニムサクン(国際レーザー医学研究所)

平野会長の挨拶「本学会は学際領域の学会で、医学、工学、理学の専門家の協力によってのみ進歩発展が全うされる。シンポジウムとパネルディスカッションが行われる時には裏番組は組まないように企画した。レーザーは多くの可能性をもつ光である。その可能性を探り、将来への展望を聞いていただきたい。」

久留米医科大学・耳鼻咽喉科 平野実

(敬称は省略させていただきました)